

呉市手をつなぐ育成会

～9月号～

育成会だより



令和5年9月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館 3階

Tel (0823)24-2260

Fax (0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu

@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>



障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



呉市立音戸中学校

たんぽぽ学級・にじいろ学級

共同作品



もくじ

9月の予定

- 表紙 呉市立音戸中学校
- P.2 「原風景」中川会長
エールの花～ひまわりの種～プロジェクト
- P.3 知的・発達障害のある子どもを育てるQ&A
～困った行動への対応編～
- P.4.5 令和手をつなぎ生きる vol.20
「息子たちと私のたからもの」
【有料道路割引制度の緩和】追加情報
- P.6 ぼくの学級！わたしの学級！
呉市立明立小学校
- P.7 本人活動報告
- P.8 お礼 広告 お知らせ 募集 編集後記

- 9月11日(月)
IT研修会(広島県障害者ITサポートセンター)
12:50(福祉会館3階)
- 9月16日(土)
いくせい太鼓 14:00(呉つばき会館)
- 9月17日(日)
カレーを作って食べよう 10:30(呉つばき会館)
うたう会 13:30(呉つばき会館)

★次回発行予定は10月1日です。





「原風景」

会長 中川 潤二

私の原風景は、母の背中越しに見える大崎上島・大崎下島の間の海から登ってくる満月。月の光が足元の波止場まで続いています。

私の家は海のそばにありました。窓を開けると、道を隔てて海です。朝起きると必ず居間の窓から海を見ていました。視線の先には野呂山もあります。その山の頂上近くに大きな木が一本ありました。対岸の島からもはっきり分かる巨木でした。



また、冬の寒い夜、川尻駅から安登方面に向かう夜行列車を見ていました。白い煙をなびかせて少し登りにかかります。昔は明かりも少ない

ですから、列車の小さいけれどしっかり長い明かりが見えます。汽笛も気を付ければ聞こえました。宮沢資治の「銀河鉄道の夜」は、私にはその夜行列車です。

海でよく遊びました。夏休みは朝 10 時までの勉強時間が終わると、海に直行です。昼までまるまる海の中です。昼からは小学校のグラウンドで野球。年のちがう人ともよく遊びました。暑さも今とは違っていました。ともかく時間がありません。5 時までたっぷりです。5 時からみんな家の用事です。私は木を切って薪を割り風呂を沸かす役目です。

私の子どもころに有って今はない物。それは三間です。(2002 年中央教育審議会答申でふれられています)一つ日は遊ぶ時間。そして、多くの遊び場、海も山も、でんぶん工場の跡地も、防空壕など。それらは、二つ目の子どもの遊びの空間です。三つめは、仲間です。近い年のたてわりの友遠もいました。その間で体験してきたことが今の自分を育ててきていると思っています。ですが、現在の子どもの三間は少なくなりました。

遊ぶところがない、友遠と時間が合わない。家が遠い。ついタブレットやゲームをさせる。それをやめさせられない。難しいけれど、子どもたちは今の時間を生きています。時間は過ぎていきます。大人が(社会が)少なくなった三間を確保してやる必要があります。

そのためには、しっかり子どもと向き合って話すしかありません。子どもの思いをしっかり受け止めてやることが何より大事です。その中で自分達家族が出来る事を見つけないといけません。子どもを信じて、一緒に親も育つしかないのではと思えます。

子どもたちの原風景が心地良いものになるように。



＝社会を明るくする運動＝ エールの花～ひまわりの種～ プロジェクト

「大きなひまわりが咲いたよ」

昨年度に引き続き今年度総会でもお配りした「ひまわり種」。

家庭で育てて下さった皆さまから、ひまわりの写真が届きました。ありがとうございました。





知的・発達障害のある 子どもを育てるQ&A

※8月号に引き続き
ご紹介いたします。



Q こんな時どうするの ～困った行動への対応編～

障害特性での困った行動にはどのように対応したらいいですか？

自傷他害

自分の思いをうまく表現できない状況にあると、そのストレスから人を傷つけたり、自分を傷つけたり、物にあたりたりという行動が出てくるかもしれません。思いを伝える方法は音声だけではありません。身振り手振りや写真、絵カード、実物を見せるなど子どもがわかる方法を見つけてください。

学校でストレスを感じているようなら、先生に相談してカームダウン(落ち着く)のスペースを作ってもらいましょう。

困ったことが起こると、自分のせいではないかと悩む方もいると思いますが、一人では抱え込まないで、かかりつけの医師、担任の先生、支援者、同じようなお子さんを持つお母さんなどに相談をしましょう。色々な人が対応や見方を変えることで落ち着くこともあります。

偏食

栄養が偏ってしまうのではないかと心配される方も多いと思います。しかし、無理に食べさせても改善しませんし、アレルギーのため食べられないという可能性もあります。

小さいうちは食べられるものを食べていけば良いと思います。食べるために無理に飲み込むことを覚えてしまうと肥満にも繋がります。そうならないよう「残してもいいよ」と声をかけ、上手に残す方法を教えることも必要です。また、食材が混ざっていたら嫌という場合もあります。おかずを1つずつ別々のお皿に入れるという方法もいいかもしれません。小学生になり体も成長してくるとお腹も空くので、給食では食べられるものが増えるかもしれません「お腹が空いたから食べてみようか」となることも、食べるきっかけになるでしょう。

また、偏食は「感覚過敏」の一環で、拒食や過食として表れることもあります。感覚過敏は不安要素が多くなると強く表れます。不安なく、リラックスできるような環境作りも大切です。

感覚過敏

視覚・聴覚・触覚・味覚が過敏に反応します。また、逆に感覚が鈍麻になる場合もあります。視覚では、光をひどく眩しく感じたり、視界に入っているものがすべて目に飛び込んでくるように見えるため、どれか一つを選んで見ることがとても困難になります。パーテーションを利用するなど工夫してみましよう。

聴覚では、空調・冷蔵庫・ドアの開け閉めの音・人の歌声など、人が気にならない音を不快に感じます。ノイズキャンセラー(苦手な音を遮るヘッドフォン)を着用することで不快感は軽減されます。

長袖、綿製の服しか着られなかったり、手の平が過敏なため粘土やクレヨンを使えないなど触覚過敏がある人もいるでしょう。また、偏食も味覚過敏と関係があると言われます。色々な食材や調味料などを使った料理が苦手なため、食べられるものが限定されてしまい、極端な偏食に陥っている人も多いのです。前項の「偏食」を参考にしてみてください。



「息子たちと私のたからもの」

家久 智美

私は、夫と小学3年生の息子と年少の息子の4人家族です。

小学3年生のお兄ちゃんは、中度～重度の自閉症で、小学校の特別支援学級に通っています。年少の弟は、まだグレーゾーンですが、言葉が遅れており、4月からつくし園に入園しています。

上の子は、赤ちゃんの時、あまり寝ない子で夜も30分に1回ぐらいの頻度で起きていました。

今となっては懐かしくもありますが、慣れない育児、睡眠不足、そして赤ちゃんの泣き声にも全く気づかないぐらい隣で深い眠りについている夫の寝顔を恨めしく見つめながら毎日1人で泣いていたのを今でも覚えています。

2歳になった頃、土地勘の全くない呉に引っ越してきて、早く話せる知り合いがほしいと思い、市民センターで月に1回開催される子育ての行事に早速行ってみました。引っ越したばかりで環境にまだ慣れていない中での行事の参加もあったのか、息子が泣き出してしまい、なんとか泣き止まそうとなだめしているとスタッフの方に「もう帰ったほうがいいよ」と言われ、家に帰り、ひたすら泣き、二度とその行事に参加することはありませんでした。

上の子が2歳半ぐらいまでは、相談どころかほとんど誰とも会話をする機会もなく孤独で、息子の言葉の遅れも気になってはいたけど、どうすればいいのかもわからず、土地勘のない呉にも馴染めず、一番辛い時期だったなあと思います。

その後も、苦労の連続ではありましたが、少しずつ良いことも増えてきました。

週に1回、療育に通うようになり、人と会話する機会ができました。3歳過ぎた頃には、近

所の幼稚園に入園しました。幼稚園の主任の先生に、息子の言葉が遅れていることなどを伝えたとこ、それでも快く入園を受け入れてくださいました。幼稚園では、少しずつママ友もでき、息子も食べ物の名前など、言葉が少しずつ出てくるようになりました。それでもまだまだ、言葉が遅れていてコミュニケーションがうまくとれない状態ではありましたが、周りの子はそんなことを気にもせず、優しく話しかけてくれ、一緒にたくさん遊んでくれました。その後、年中・年長で病院に通い始め、療育を増やし、療育手帳を取得、小学校の支援学級へ進学することとなりました。

息子の友達のほとんどは幼稚園(途中からこども園)時代からの友達で、今でも変わらず仲良くしてくれています。学校の先生から聞いた話だと、今でも時々、20分休憩の時に支援級の教室まで息子を遊びに誘いに来てくれ、遠足の時には女の子2人が両側から手を繋いで歩いてくれて、無事に目的地までたどり着くこともできました。今年の5月にも、息子が頭にケガをしてしまい、頭にネットなど手当てをした状態で、普通級の教室に入ったら、息子の頭を見て、クラスの皆が悲鳴と大パニック。「はるくん、どうしたの?」「大丈夫?」ととても心配してくれたそうです。

また、つい先日も息子を学校まで送って行った時に、下駄箱でなかなか室内シューズに履き替えずボーッとしていた息子のところに、1人の男の子がやってきて、息子の肩をポンポンとたたき、シューズを指差しながら、優しい口調で「はるくん、シューズ履こう」と声をかけてくれて、息子も素直にシューズに履き替えることができました。その光景を見た時、息子の周りにもこんなすごい子がいることに驚くと共に感謝しました。

上の子と私にとって、とても優しく素敵



な同級生のみんなと出会えたことは、かけがえのない大切なものです。

最後に、下の子の話になりますが、下の子は当初、こども園に入園させようと思いい入園申込書を提出しに行ったのですが、あまり入園を歓迎されていない様子があり、考え直し、つくし園に入園することに決めました。

発達の遅れのある子を見て、「そういう子は専門のところ(つくし園)に行ったらいいよ。療育環境もすごく充実してるし」と言う方が時々いますが、つくし園の本当の良さはそこではない、と私は思います。

私自身も息子を入園させて初めて分かったことなのですが、つくし園は療育環境もちろんとても充実していますが、つくし園の1番の魅力はなんと言っても「人」です。

つくし園の先生方は子どもや保護者に寄

り添いながら、一緒に喜んだり悩んだり、時に厳しいことを言ったり、いつも一生懸命真っ直ぐ向き合ってくれます。

私はつくし園の先生がみんな大好きです。

そして、保護者の方たちも、みんなとても優しく子育てに熱心な方ばかりです。皆さん、それぞれ子どものことで悩んだり傷ついたり、いろんな経験をされてきた方がほとんどなので、相手を否定したりましてや傷つけようなんて人は1人もいません。

下の子が今後どのような成長をして、どのような診断になるのかはまだわかりませんが、このつくし園で知り合ったすべての人との出会いが、私と下の子のかけがえのない大切なものであることは変わりありません。

どんな環境であろうと、1番大事なものは結局のところやっぱり「人」です。

息子たちと私は、素敵な出会いをたくさんすることができて、とても幸せだなと思います。

そして、これからもたくさん素敵な出会いをしていきたいです。



【有料道路割引制度の緩和】 追加情報



令和5年3月27日から、有料道路の障害者割引について、1人1台要件の緩和により、タクシーや福祉有償運送、レンタカー、知人の自家用車等での有料道路の利用であっても、料金所で障害者割引登録済であることを示すシールが貼付された障害者手帳を提示し、料金所係員が要件等の確認を行うことで、割引が適用されます。

家族の中に ETC 割引対象者が2人以上の場合

① 同じ ETC カードに同時に登録できます。(手続きが必要) ETC レーン通過可能

障害者割引登録済であることを示すシールが貼付されるため、登録済の自家用車以外の車に乗った際にも割引が適用されます。

② 登録車なしの手続きをし、シールを貼って、割引してもらう方法もあります。シール確認での支払いは、一旦停止し係員の指示に従ってください ETC レーン通過は出来ませんのでご注意ください。

ぼくの学級！
わたしの学級！

明立小学校の青空学級は、青空1組5名、青空2組7名の計12名で、いつもわいわい楽しく活動をしています。
「あったか言葉」「あったか行動」で友だちと仲良くかかわっています。



司会やはじめの言葉、ゲーム、歌などみんなで分担して、お誕生日会をしました。くす玉を割るとみんなからのプレゼントが出てきて大盛り上がりでした！

あったか言葉

きゅうり、ミニトマト、なすび、ピーマンなど、たくさんの野菜を収穫しました。青空市場を開いて販売もしました。

呉市立明立小学校 青空学級



あったか行動



野菜がもっともっと大きくなるように願いをこめて、支柱を立てたり、草抜きをしたりしました。水やりもがんばりました。

梅の収穫をして、梅ジュースを作りました。梅と同じ量の氷砂糖を量って、梅→氷砂糖→梅→氷砂糖→梅→氷砂糖と1人1人が順に大きな瓶に入れていきました。みんなで作った梅ジュース、最高においしかったです！





ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告



ほんにんぶ かいふくかいちよう しもはな とおる
本人部会副会長 下花 透

8月20日。最初にお盆をどのように過ごしたのかを、話し合いました。
ほとんどの人が、墓参りをしていました。きょうだいそろってにぎやかなお盆をすごしたみたいです。

その後、県大会の打ち合わせをしました。

最後に、勉強会をしました。「ひとりだち」の本で一人が生活するにはどうしたらいいか、読み合わせをして終わりました。



昼からのうたう会は、たくさんの仲間が参加してくれました。

9月の本人活動は、カレーを作って食べます。

いろいろな仲間たちにも声をかけようと思います。



カレーを作って食べよう



日時：9月17日（日） 10時30分

場所：呉つばき会館 調理室

持ってくるもの：米1合 エプロン マスク 三角巾

参加費：500円（一人）

申し込み：9月14日（木）までに事務局にお申し込みください。



☆ありがとうございました☆
【順不同・敬称略】(8月20日現在)



はがきをいただいた皆さま
匿名



サポート会員の皆さま

認定こども園しろはと 神崎 文子
迫田 千恵子 徳永 玲子 匿名

IT 研修会を開催します



広島県障害者 IT サポートセンターの方を講師に迎え IT 研修会を開催します。子どもたちも学校で使っているタブレットを使用して進めます。参加希望の方はお申込みください。

日時:9月11日(月)12:50~15:00

場所:育成会事務局(呉市福祉会館3階)

定員:10名程度(会員さん優先)

第41回 野呂山学園作品展

日時:令和5年10月24日(火)~29日(日)
10:00~16:00

場所:グリーンヒル郷原(香りの館) 入場無料
問い合わせ先:野呂山学園
(作品展広報担当 廣本 0823-77-0111)



詳細は次号でお伝えします。お楽しみに!

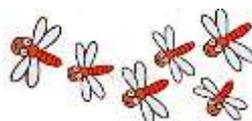
第38回 くれ福祉まつり

日時:令和5年10月15日(日)
10:30~14:00

場所:呉ポートピアパーク

内容:ボランティア活動・展示物・バザー・
体験コーナー(手話,車椅子ほか)・
飲食コーナー・ふれあいステージなど
問い合わせ先

呉市社会福祉協議会 0823-25-3505



編集後記

今年の夏は、日々暑く(熱く)うだりしました。電気料金の支払いが怖いですが、さて、うたう会のみなさんも、やっとみんなで調理ができると楽しそうに計画を立てておられます。また県福祉大会尾道大会に向け準備も進めています。

県大会はつらつ大会では「決議文」を發表します。呉からも立候補するようです。

いつもは「はっきり伝えられる人」ばかりでしたが、この度は、「ゆっくりでも發表できる」を大切に、紙を掲げ一文字ずつ読みあげながらチャレンジされるようです。

人は様々な経験を積み、大きくなっていくのだと思います。練習がんばれ!

SEIWA

正和実業株式会社

コークス販売
産業廃棄物収集運搬

正和液化株式会社

プロパンガス販売

〒737-0004 広島県呉市阿賀南3-8-5
TEL: 0823-71-8228 FAX: 0823-71-8230
Mail: seiwa.t@soleil.ocn.ne.jp